

「全日本バレーボール小学生大会新潟県大会」
開催における新型コロナウイルス感染拡大防止策について

新潟県小学生バレーボール連盟

本大会は、

- ・ (公財) 日本スポーツ協会
「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(20年5月14日付け)
- ・ (公財) 日本バレーボール協会【JVA】
「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」(21年3月5日更新版)
- ・ 新潟県小学生バレーボール連盟
「大会開催における新型コロナウイルス感染拡大予防対策ガイドライン【主催者版】」(4月改訂版)

版)

に従って、以下のとおり大会の感染拡大防止策を実施します。

なお、感染状況によっては止むを得ず大会を中止する事もあります。

☆出場チーム数

- ・ 本大会の会場規模、感染防止のガイドライン等を考慮し、

【男子】 8 チーム 【女子】 24 チーム とする。

1 主催者としての対応

- (1) 感染拡大防止のため、事前に注意事項を明確にし、参加チームへの案内を徹底する。
参加チームは、感染予防対策を遵守し大会に参加することを誓約し申し込む。
- (2) 大会会場に対策内容及び注意事項の掲示を行う。
- (3) 当日受付時に体調に問題の無い方のみ入場可とする。入場後、体調不良(発熱・咳・咽頭痛等)を起した関係者は、速やかに退場をお願いする。(チームで管理する)
- (4) 受付場所、本部席、コート記録席に消毒液を準備し、スタッフの手指ならびに使用用具を使用前・使用後に消毒する。
- (5) 受付窓口等、人と人が対面する場所はアクリル板等で遮蔽する。
- (6) チーム受付は、代表者会議に出席するチーム代表者より会議場所にて行う。
- (7) 更衣場所の使用は、入室制限をかける。(密集の回避)
- (8) 試合会場の換気は、施設空調設備及び窓・非常口の開放を行う。(密閉の回避)
- (9) 参加チームにはリストの事前提出を必須とする。(出場者、観覧者)
また、併せて概ね2週間前からの健康状態を記録したチェックシートも提出してもらう。
※当日のエントリー変更は不可。リストは1カ月保存。(個人情報取扱いに細心の注意)
観覧者の人数は、ベンチ入り選手の人数を超えないこと。
- (10) **会場内では、チームや大会役員と観覧者との動線の区別、並びに立入制限区域を明確にする。(ゾーニングと動線的设计・実施)**
- (11) 会場への入場は、主催者の指示で行うこととし、入り口での待機をさせない。
コートでの全チームによる練習開放は行わない。

- (12) 大会中止の基準について
- ①国、県から非常事態宣言が発令された場合。
 - ②会場施設より要請された場合。
 - ③連盟加盟の複数チームから感染者が出た場合。

2 参加チーム への依頼

- (1) 会場入場について
- ・開場時間前は、玄関の外でチーム毎に待機する。(他チームと密接にならないこと)
 - 入場後は会場からの途中退場、再入場は原則認めない。
 - ・入場は主催者役員の指示に従い、間隔を空けて入場すること。
- (2) 各リスト(参加者及び観覧者。記載漏れの有無を確認しておくこと)を提出する。
- (3) 参加者(選手を除くスタッフ、観覧者)の入場許可証を準備し、入場時には身に着けること。雛形は主催者で作成する。
- (4) 関係者全員、マスクを着用する。(予備も用意する。)
- (5) 手指消毒液、石鹸をチームで準備しこまめに消毒、洗浄する。
- (6) ゴミ袋を持参し、チームの使用済み衛生品(マスク、消毒用品)を確実に持ち帰る。
- (7) 観覧席への入退場口を限定する。事前登録者以外の第三者の入場をチェックする。
- (9) 観覧席は、チーム毎に選手・関係者控え場所を指定する。
(観覧席の最前列と2列目は、試合チームの応援席として、控え場所の指定から外す。)
- (10) 観覧席では、選手のフロアとの往來を優先し、密にならないようお互いに配慮すること。

3 試合中における対応

- (1) 主審・副審・記録員はマスクを着用する。(熱中症を考慮し会話が無い時は外す事を認める)
- (2) 試合球は1コート2個準備し、タイムアウト(テクニカルタイムアウト)及びセット間に消毒しながら交互に使う。
- (3) ベンチスタッフ(監督・コーチ・マネージャー)はマスクを必ず着用すること。
選手は基本しなくてもよいが、希望により着用することはできる。
- (4) タオルや飲み物の保管・管理を徹底する。(共用禁止)
- (5) コイントスの前の握手はせず、一礼とする。
- (6) 試合開始前・終了後の握手はせず、エンドラインで、一礼とする。エンドラインで一列に並ぶ人数は6人とし、6人を超えるチームは2列に間隔をあけて並ぶ。
- (7) **コートチェンジ時および試合終了時は、スタッフが使用したベンチの消毒を行ってから移動する。(チームごとに消毒用品をベンチへ持ち込む。)**
- (8) 試合終了後の監督同士や審判との握手はせずに、一礼とする。
- (9) 試合前などの円陣やベンチでの集合時は、密集・密接を避ける。
- (10) 競技中での、ハイタッチ・握手は禁止とし、腕のタッチにとどめる。
- (11) ネット越しに、大きな声による相手への声かけは行わない。

- (12) 競技者交代時は、選手同士で手を合わせずに間隔をかけて、競技者交代を行う。
- (13) 体調の異常や、激しい咳等異常を感じる選手については、試合中でも審判団と本部で協議し、試合続行について検討する。
- (14) 主審・副審は、**マスクを着用もしくはホイッスルカバーを装着のうえ**ホイッスルを使用する。試合後、審判を行った周辺を消毒する。
- (15) 観覧者(応援者)は、会話・応援の際はマスクを着用して間隔をとる。また、大声・鳴り物を使用しての応援は禁止とする。
- (15) 会場に入れるのはチーム**合計 27 名 (選手・スタッフ・応援者) 以内**とする。応援者の人数は、ベンチ入り選手の人数を超えないこと。

4 大会終了後における対応

- (1) 大会終了後 2 週間以内に、参加者の中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合は、速やかに登録地区の県小連支部長及び県小連理事長に報告する。
- (2) 報告を受けた場合、理事長は速やかに支部長を通じて参加全チームに連絡をする。
(具体的な対応・対処については、県や市の指示に従う。)